



安全データシート Screen Clene Tub 100 Wipes

JIS Z 7253「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 - ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)」に準拠

1: 化学品及び会社情報

製品特定名

製品名 Screen Clene Tub 100 Wipes

製品番号 ASCR100T, ASCR100R, ZA

化学品の推奨用途及び使用上の制限

特定された用途 洗浄剤。

推奨されない用途 特定の勧告用途は確認されていない。

安全データシートの供給者の詳細

供給者 HK WENTWORTH LIMITED
32 RUE DE TOURNENFILS
91540 MENNECY
FRANCE
+33 (0) 1 82 88 47 94
info@af-net.com

製造者 AF INTERNATIONAL
MacDermid Alpha Electronics Solutions
ASHBY PARK
COALFIELD WAY
ASHBY de la ZOUCH
LEICESTERSHIRE. LE65 1JR
UNITED KINGDOM
+44 (0) 1530 419600
+44 (0) 1530 416640
info@af-net.com

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 緊急コールの場合: +65 3158 1074 (24時間、Carechem 24提供)

2: 危険有害性の要約

化学物質又は混合物の区別

物理化学的危険性 区分外

健康有害性 区分外

環境有害性 水生環境有害性 (急性) 区分3 - H402

GHS ラベル要素

危険有害性情報 H402 水生生物に有害。

注意書き P273 環境への放出を避けること。
P501 国の規則に従って内容物 / 容器を廃棄すること。
P102 子供の手の届かないところに置くこと。

Screen Clene Tub 100 Wipes

他の危険有害性

この製品はPBTまたはvPvBに分類される物質を一切含まない。

3 : 組成及び成分情報**混合物**

2-Butoxyethanol	0.1-1%
CAS番号: 111-76-2	

分類

急性毒性 区分4 - H302

急性毒性 区分4 - H312

急性毒性 区分4 - H332

皮膚刺激性 区分2 - H315

眼に対する重篤な刺激性 区分2 - H319

Benzyl-C12-14-alkyldimethylammonium chlorides**<0.1%**

CAS番号: 68424-85-1

Mファクター (慢性) = 10

毒性乗数 (M) (慢性) = 1

分類

急性毒性 区分4 - H302

皮膚腐食性 区分1B - H314

眼に対する重篤な損傷性 区分1 - H318

水生環境有害性 (急性) 区分1 - H400

水生環境有害性 (長期間) 区分1 - H410

3-iodo-2-propynyl butylcarbamate**<0.1%**

CAS番号: 55406-53-6

Mファクター (慢性) = 10

毒性乗数 (M) (慢性) = 1

分類

急性毒性 区分4 - H302

急性毒性 区分3 - H331

眼に対する重篤な損傷性 区分1 - H318

皮膚感作性 区分1 - H317

特定標的臓器毒性 (STOT)、反復ばく露区分1 - H372

水生環境有害性 (急性) 区分1 - H400

水生環境有害性 (長期間) 区分1 - H410

Diethyl phthalate**<0.1%**

CAS番号: 84-66-2

分類

区分外

全ての危険有害性情報の全文は項目16に示されている。

4 : 応急措置応急措置の説明

Screen Clene Tub 100 Wipes

一般情報	懸念がある場合には、直ちに医師の手当てを受けること。医療関係者にこの安全データシートを見せること。
吸入	特定の推奨事項はない。喉の刺激または咳が続く場合には、以下の通りに処置すること。被災者を空気の新鮮な場所に移して暖かく保ちながら呼吸しやすい姿勢で休息させること。襟、ネクタイまたはベルトのような体を締め付ける衣類を緩めること。何らかの不快感が続く場合には医師の手当てを受けること。
経口摂取	特定の推奨事項はない。喉の刺激または咳が続く場合には、以下の通りに処置すること。口をすすぐこと。何らかの不快感が続く場合には医師の手当てを受けること。
皮膚接触	特定の推奨事項はない。水で洗うこと。何らかの不快感が続く場合には医師の手当てを受けること。
眼接触	コンタクトレンズがあれば取り外し顔を大きく広げること。水で洗うこと。何らかの不快感が続く場合には医師の手当てを受けること。
応急措置をする者の保護	周囲の物質に適した保護具を使用すること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

一般情報	記載されている症状の重症度は濃度および暴露の長さに依存して変化する。
吸入	単回暴露は次の悪影響を引き起こすおそれがある：一時的な刺激。
経口摂取	飲み込むと不快感を引き起こすおそれがある。
皮膚接触	不快感を引き起こすおそれがある。
眼接触	眼をわずかに刺激するおそれがある。

必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

医師に対する特別な注意事項	症候に基づいた処置を行うこと。
特別な治療	特別な治療は必要ない。

5：火災時の措置

消火剤

適切な消火剤	製品は可燃性/引火性でない。耐アルコール泡消火剤、二酸化炭素、粉末消火剤または水霧で消火すること。周辺火災に適した消火剤を使用すること。
使ってはならない消火剤	火災を広げるので棒状水を消火剤として使用しないこと。

化学品から生じる特定の危険有害性

特有の危険有害性	過剰な圧力増大が生じるので、容器は加熱すると激しく破裂または爆発することがある。
有害燃焼副産物	熱分解または燃焼した製品は次の物質を含むおそれがある：有害なガスまたは蒸気。

消火を行う者の保護

消火活動中の保護措置	火災ガスまたは蒸気の吸入を避けること。区域から避難すること。水スプレーを使用して熱にさらされた容器を冷却すると共にリスクを伴わずに対処可能ならそれらの容器を火災区域から移動させること。炎にさらされた容器は消火後も十分な時間冷却し続けること。漏洩物または流出物に点火していない場合には、水スプレーを使用して蒸気を分散させることにより漏洩を止めている者を保護すること。
消火を行う者を保護するための特別な保護具	陽圧自給式呼吸器 (SCBA) および適切な保護衣を着用すること。消防士の衣類は化学物質に対して基本レベルの保護を提供する。

6：漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

Screen Clene Tub 100 Wipes

人体に対する注意事項 特定の推奨事項はない。個人保護具については、項目8を参照。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 排水管または水路あるいは地表への放出を防止すること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

浄化方法 可能ならば製品を再使用または再利用すること。物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。汚染された区域を多量の水で洗い流すこと。流出物の取扱い後は十分洗うこと。国の規則に従って内容物 / 容器を廃棄すること。

他の項目の参照

他の項目の参照 個人保護具については、項目8を参照。廃棄物の廃棄処理については、項目13を参照。

7: 取扱い及び保管上の注意

安全な取扱いのための予防措置

使用上の予防措置 子供の手の届かない場所に保管する。製造業者から提供される推奨事項を読みこれに従うこと。この安全データシートの項目8に記載の防護衣を着用すること。飲食物、動物用飼料から離して保管する。流出を最小限に抑えるためにすべての包装および容器を慎重に取り扱うこと。使用しないときは容器を厳重に密閉しておくこと。ミストの形成を避けること。

職業衛生全般に関する助言 皮膚が汚染された場合は直ちに洗うこと。汚染された衣類を脱ぐこと。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

混触禁止物質を含む、安全な保管条件

保管上の予防措置 混触危険物質 (項目10を参照) から遠ざけて保管すること。特定の推奨事項はない。

保管クラス 特定されていない物質の保管。

特定最終用途

特定最終用途 この製品の意図された使用は項目1で詳しく述べられている。

8: ばく露防止及び保護措置

管理パラメーター

職業ばく露限界値

2-Butoxyethanol

最高容許濃度: 20 ppm 97 mg/m³

生殖毒性物質 第2群

Diethyl phthalate

長時間暴露限界 (8時間TWA) : 5 mg/m³

生殖毒性物質 第2群 = ヒトに対しておそらく生殖毒性を示すと判断される物質

ばく露防止

適切な設備対策 特定の換気装置は必要でない。

眼 / 顔面の保護 通常の使用においては特別な眼の保護は必要とされない。

手の保護 推奨される特定の手の保護はない。

その他の皮膚及び身体の保護 リスク評価により皮膚汚染の可能性が示された場合には承認された規格に適合した適切な履物および追加的な保護衣を着用しなければならない。

衛生措置 取扱い後は手をよく洗うこと。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

呼吸器の保護 特定の推奨事項はない。

Screen Clene Tub 100 Wipes

環境ばく露の防止

環境に危険であるとは考えられない。

9 : 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

外観	液体を浸透させたワイパー。
色	無色。
臭い	特有の臭い。
臭いの閾値	決定されていない。
pH	pH (濃厚溶液) : 5-7
融点	決定されていない。
初留点及び沸騰範囲	決定されていない。
引火点	決定されていない。
蒸発速度	決定されていない。
蒸発係数	決定されていない。
燃焼性 (固体、気体)	決定されていない。
燃焼又は爆発範囲の上限・下限	決定されていない。
その他の燃焼性	決定されていない。
蒸気圧	2.35 kPa @ 20°C
蒸気密度	決定されていない。
相対密度	決定されていない。
バルク密度	決定されていない。
溶解度	決定されていない。
分配係数	決定されていない。
自己発火温度	決定されていない。
分解温度	決定されていない。
粘度	決定されていない。
爆発特性	爆発性であると考えられない。
酸化特性	酸化性物質の分類基準を満たさない。

10 : 安定性及び反応性

反応性	詳しくはこのセクションの他のサブセクションを参照のこと。
安定性	標準周囲温度および推奨条件で使用した場合は安定。規定された保管条件下では安定。
危険有害性反応危険性	危険有害性反応の可能性は知られていない。
避けるべき条件	危険有害性状態をもたらす可能性のある条件は知られていない。
混触危険物質	製品と反応して危険有害性状況を生じる可能性のある特定の物質または物質群は無い。

Screen Clene Tub 100 Wipes

危険有害な分解生成物

推奨事項に従って使用および保管した場合には分解しない。熱分解または燃焼した製品は次の物質を含むおそれがある：有害なガスまたは蒸気。

11：有害性情報

有害性情報

毒物学的影響

現在の法律では健康に対して危険有害性とはみなされない。

急性毒性 - 経口

概要

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

備考（経口LD₅₀）

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

急性毒性 - 経皮

概要

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

備考（経皮LD₅₀）

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

急性毒性 - 吸入

概要

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

備考（吸入LC₅₀）

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

皮膚腐食性 / 刺激性

概要

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

動物データ

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性

概要

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

呼吸器感作性

概要

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

呼吸器感作性

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

皮膚感作性

概要

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

皮膚感作性

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

生殖細胞変異原性

概要

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

遺伝毒性 - in vitro

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

発がん性

概要

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

発がん性

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

IARC発がん性

どの成分も記載されておらず免除もされていない。

生殖毒性

概要

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

生殖毒性 - 生殖能

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

生殖毒性 - 発生

利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

Screen Clene Tub 100 Wipes

特定標的臓器毒性 - 単回ばく露

概要 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

**特定標的臓器毒性
(STOT) - 単回ばく露** 単回暴露後の特定標的臓器毒性には分類されない。

特定標的臓器毒性 - 反復ばく露

概要 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

**特定標的臓器毒性
(STOT) - 反復ばく露** 反復暴露後の特定標的臓器毒性物質に分類されない。

吸引性呼吸器有害性

概要 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

吸引性呼吸器有害性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

一般情報 特有の危険有害性は知られていない。記載されている症状の重症度は濃度および暴露の長さに依存して変化する。

吸入 単回暴露は次の悪影響を引き起こすおそれがある：一時的な刺激。

経口摂取 飲み込むと不快感を引き起こすおそれがある。

皮膚接触 不快感を引き起こすおそれがある。

眼接触 眼をわずかに刺激するおそれがある。

ばく露経路 経口摂取 吸入 皮膚および/または眼との接触

標的臓器 特有の特定標的臓器は知られていない。

12：環境影響情報

生態毒性 環境に危険であるとは考えられない。しかしながら、大量または頻繁な流出は環境に対して危険有害性影響を及ぼすおそれがある。

毒性 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

急性水生毒性

概要 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

慢性水生毒性

概要 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

残留性・分解性

残留性・分解性 製品の分解性は未知である。

生体蓄積性

生体蓄積性 生体蓄積性について利用可能なデータ無し。

分配係数 決定されていない。

土壌中の移動性

移動性 データなし。

他の有害影響

他の有害影響 知られていない。

13：廃棄上の注意

Screen Clene Tub 100 Wipes

廃棄上の注意

一般情報

廃棄物の生成を最小限に抑えるか、可能であれば避けなければならない。可能ならば製品を再使用または再利用すること。この物質および容器は安全な方法で廃棄する。

廃棄方法

現地の廃棄物管理当局の規定に従い認可された廃棄物廃棄物投棄地点に廃棄物を廃棄すること。

14 : 輸送上の注意

一般事項

製品は危険物の輸送に関する国際規則 (IMDG、IATA、道路輸送/鉄道輸送) の適用範囲に含まれない。

国連番号

該当しない。

品名 (国連輸送名)

該当しない。

国連分類 (輸送における危険有害性クラス)

輸送警告標識は要求されない。

容器等級

該当しない。

海洋汚染物質

環境有害物質 / 海洋汚染物質

該当せず。

使用者のための特別予防措置

該当しない。

MARPOL73/78 附属書II及び IBCコードによるばら積み輸送 該当しない。

15 : 適用法令

該当製品に特有な安全、健康及び環境に関する規制

国内規制

GHSに基づく化学品の分類方法JIS Z 7252:2014

GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート (SDS) JIS Z 7253:2012

インベントリー

日本 (化審法)

一部の成分は記載されているかまたは免除されている。
以下の成分は記載されているかまたは免除されている:

3-iodo-2-propynyl butylcarbamate

2-Butoxyethanol

Benzyl-C12-14-alkyldimethylammonium chlorides

Diethyl phthalate

16 : その他の情報

Screen Clene Tub 100 Wipes

安全性データシートに使用されている略語及び頭文字

IATA: 国際航空運送協会
ICAO: 危険物の航空安全輸送に係る技術指針。
IMDG: 国際海上危険物。
CAS: ケミカルアブストラクツサービス。
ATE: 急性毒性推定値。
LC₅₀: 半数致死濃度。
LD₅₀: 半数致死量。
EC₅₀: 半数影響濃度。
PBT: 難分解、生体蓄積性、毒性物質。
vPvB: 高残留性・高生体蓄積性。

訓練に関する助言

製造業者から提供される推奨事項を読みこれに従うこと。

発行者

Damian Robertson

改訂日

2021/09/28

改訂版

3.2

SDS番号

185

危険有害性情報の全文

H302 飲み込むと有害。
H312 皮膚に接触すると有害。
H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。
H315 皮膚刺激。
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
H318 重篤な眼の損傷。
H319 強い眼刺激。
H331 吸入すると有毒。
H332 吸入すると有害。
H372 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(喉頭)の障害。
H400 水生生物に非常に強い毒性。
H402 水生生物に有害。
H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

この情報は明示されている特定の物質のみに関連するものでありこの物質を他の何らかの物質と併用したり何らかのプロセスに使用した場合には有効でない場合があります。上記の情報は、弊社の知識および確信のおよぶ限り、標示されている日付の時点において正確かつ信頼性の高い情報です。しかしながら、その精度、信頼性または完全性に関して一切の保証、補償あるいは表明をするものではありません。各自の特定用途に対する上記情報の適合性に関して確認を行うことは使用者の責務です。